

短期大学保育学生におけるボランティア活動の 動機分析Ⅱ

—動機づけ構造と参加決定因を中心として

堤 幸一, 澤津まり子, 立石あつ子 (就実短期大学)

The Motive Analysis of Volunteer Activities in Junior College Child Care Student II :

Mainly about the Structure of motives and deciding factors of the participation

Kouichi TSUTSUMI, Mariko SAWAZU, Atsuko TATEISHI (Shujitsu Junior College)

抄 録

著者らは、専門的な知識・技術を実践的に学習する場として、学生のボランティア活動を支援してきたが、2007年度から、より効果的な支援のための基礎的研究も開始した。そして、本学保育学生を対象に、ボランティア活動への参加動機と継続動機を調査し、彼らがボランティア活動を社会貢献・自己啓発の機会として捉え、自発的・主体的に取り組むべきものと考えていることを見出し、先行研究で報告した。2008年度も引き続き、別年度の学生を対象として、昨年度と同様の参加・継続動機の調査を行い、併せてボランティア活動への参加・不参加決定の際の具体的要因の調査も行った。その結果、参加・継続動機の構造は、学年間でも、ボランティア経験有無群間でも類似していること、経験有群の方が平均動機づけ評定値が高い、すなわち普遍性があることが示されたといえる。また参加・不参加決定には活動内容やボランティア自体への興味の強さが大きいことが示された。

キーワード： ボランティア活動支援, 内発的動機づけ